

## 公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

国家公務員共済組合連合会東海病院			
【地域において今後担うべき役割】（P11）			
<p>65 歳以上人口は増加し、県全体より増加率は高い。当院は病院、介護老人保健施設、健診センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所によって運営する施設であり、病院機能の他に予防、介護、療養、在宅に対しても他病院より環境に恵まれており競合病院も少ない。その利点を活かし、急性期を脱した自院からの転棟及び他病院の患者受け入れを積極的に行い、地域包括ケア病棟を有効利用する。</p> <p>また、訪問診療を行っている開業医の先生方との連携強化をし、訪問診療先の患者を日中・夜間を問わず診療に対応し、時間外診療、入院加療にも対応していく。</p>			
【今後持つべき病床機能】（P11）			
<p>現状の一般急性期病棟（120 床）と地域包括ケア病棟（46 床）の医療体制を維持していく。</p> <p>また併設している介護老健保健施設（100 床）、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業も活用し地域密着型の医療を提供する。</p>			
【今後の方針】（P7）			
	現在 （平成28年度病床機能報告）		将来 （2025年度）
高度急性期		→	
急性期	176		120
回復期			46
慢性期			
（合計）			
【その他の数値目標】			
記載なし			